



株主の皆様へ

第107期 第2四半期のご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日

株式会社 サンエー化研

証券コード:4234



To Our Shareholders

▶ 株主の皆様へ



代表取締役社長 藤岡 宣隆

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

まず、第107期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況についてご報告させていただきます。

当第2四半期の経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国及び欧州経済が、雇用環境の改善と個人消費を中心とした内需の底堅さを背景に、緩やかな回復が見込まれている反面、中国では、過剰投資・過剰債務の存在によって民間投資が減少しており、経済成長は鈍化傾向にあります。また、資源国においては、資源価格の下落に伴う経済の悪化が懸念されており、今後の世界経済の不透明感はますます強まっております。

一方、わが国経済においては、原油安を背景としたエネルギー・原材料コストの低減、及び円安に伴う輸出の増加等により、企業業績の改善が見込まれております。また、良好な雇用情勢と賃金の持ち直しにより個人消費は緩やかな回復傾向を示しており、景況感は一好転しつつあります。

当社グループの業績概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績といたしましては、前下期から続く機能性材料部門の販売不振から完全に抜け出すことができず、グループ全体の売上は減少いたしました。

その一方で、昨年より進行した原油安と材料選定の見直しにより、樹脂、プラスチックフィルムなどの原材料コストが低減し、収益性は大きく改善いたしました。また、各生産拠点における製造工程の見直しや原

材料ロスの低減、在庫保有コストの圧縮など、徹底した合理化による経費削減も増益の大きな要因となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高150億54百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益5億95百万円（前年同期比221.4%増）、経常利益6億73百万円（前年同期比169.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億63百万円（前年同期比155.7%増）となりました。

通期の業績見通し

第107期第3四半期以降につきましては、次の事業戦略により増収増益を目指します。

まず軽包装材料においては、新たな製袋機の導入によって強みのある独自商品のラインアップ拡充を図り、新規顧客の開拓と効率生産によって増収及び利益率向上を目指します。

次に産業資材においては、来期、掛川市に竣工予定の掛川工場 WESTを早期に安定稼働させるため、新工場に移管する製品の受注量を最大限確保し、円滑な立ち上げを目指します。その結果、外注工賃、横持ち運賃等の増加によるコスト上昇が予想されますが、電材用工程紙など高付加価値製品の拡販に努め、コスト上昇の極小化を図ります。

最後に機能性材料においては、中国蘇州市の合併会社：長鼎電子材料（蘇州）有限公司の本格稼働と、現地に設立した販売子会社：灿櫻（上海）商貿有限公司の営業開始が控えており、これを機に中国の市場開拓

を本格的に進めます。また、国内工場で生産する製品については、開発の方向性が業界のトレンドを外れないよう情報収集に努めるとともに、汎用製品についてもコストダウンと品質向上によって安定受注が得られるよう注力いたします。

その結果、通期の経営成績は、売上高308億円（前期比3.1%増）、営業利益8億60百万円（前期比509.5%増）、経常利益10億円（前期比1,072.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億70百万円（前期比1,197.9%増）を見込んでおります。

なお、セグメント別の売上高は、軽包装材料144億円（前期比3.0%増）、産業資材79億円（前期比2.5%増）、機能性材料81億円（前期比3.7%増）、その他4億円（前期比5.6%増）を見込んでおります。

平成27年12月

第2四半期決算ハイライト			
■ 売上高	■ 営業利益	■ 経常利益	■ 親会社株主に帰属する四半期純利益
150億54百万円 (前年同期比 2.4%減)	5億95百万円 (前年同期比 221.4%増)	6億73百万円 (前年同期比 169.9%増)	4億63百万円 (前年同期比 155.7%増)



Segment Review

▶ セグメント別のご報告

軽包装材料

48.3%



●事業内容

食品、医薬品、医療器具、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物にもっとも適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

産業資材

24.6%

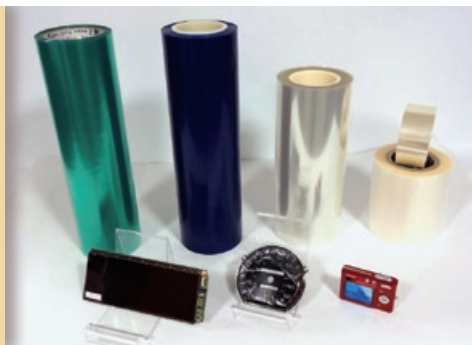


●事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

機能性材料

25.4%

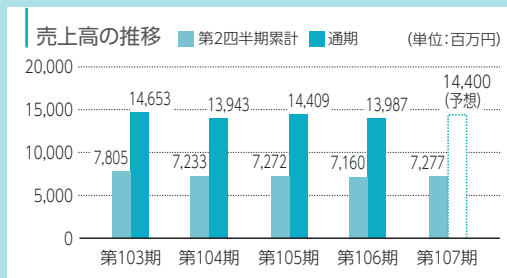


●事業内容

機能性プラスチックフィルム(各種表面保護フィルム等)の製造・販売を行っています。光学用途の各種部材(フラットパネルディスプレイに使用される偏光板やプリズムシート等)から建材用途に至るまで、様々な部材を製造工程や輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

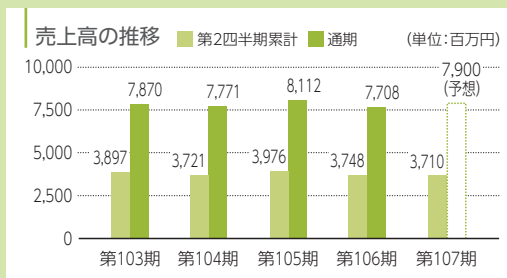
●当第2四半期連結累計期間の概況

- ・ **食品用包材**については、電子レンジ対応食品包材「レンジＤｏ！」やイーザーカットフィルム「ポロン」が販売好調。一方、スポーツ飲料から炭酸系飲料への嗜好の変化に伴って清涼飲料用パウチが落ち込み、他の食品包材も全般的に振るわず減収。
- ・ **医薬品・医療用包材**については、高防湿ＰＴＰシート用フィルム「テクニフィルム」の拡販が進むも、その他の商品は競争激化により減収。
- ・ **精密その他の包材**については、エア緩衝材「エアロテクト」が在庫調整一巡で受注回復。その他一般包材の販売も堅調で、この分野は増収。



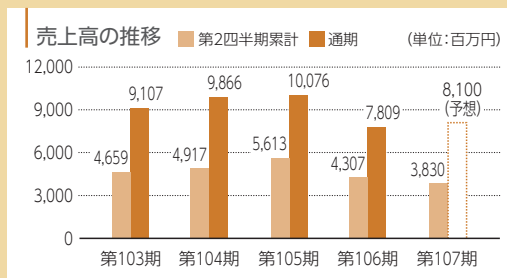
●当第2四半期連結累計期間の概況

- ・ **テープ基材関連**については、建設・物流業界の景気が回復基調にあるものの、その傾向は一部地域にとどまっており、顕著な需要増には至らず。また、海外から輸入されるフィルムベースの粘着テープが国内市場を侵食していることもあって、わずかな増収にとどまる。
- ・ **剥離紙**については、自動車関連部材用、電子部品固定用、建材用の用途で前期並みの売上を維持。一方、スマートフォン等に使用される電材用工程紙は、韓国ユーザーからの受注が未だ回復途上にあり、剥離紙全体ではわずかに減収。



●当第2四半期連結累計期間の概況

- ・ **「サニテクト」**については、光学分野の苦戦続くが、剥離フィルムのないPET基材の「NSタイプ」の改良で受注がやや回復し、わずかに増収。
- ・ **「PAC」**については、同業他社との競争が激化するなかで、ユーザーの品質要求に応えながら販売数量を伸ばし、増収。
- ・ **「SAT」**については、タッチパネル部材メーカーからの受注回復と中国市場の開拓がともに遅れ、大幅減収。光学用フィルムの貼合せ受託加工の増加で一定程度補うも、「SAT」の落ち込みをカバーできず。





Financial Statements

▶ 連結財務諸表

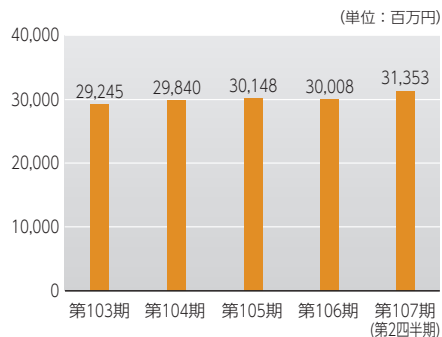
四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

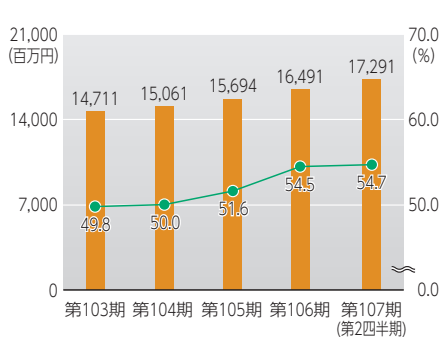
科 目	前 期 末 平成27年3月31日現在	当第2四半期末 平成27年9月30日現在
資産の部		
流動資産	19,315	19,671
現金・預金	5,440	5,656
売上債権	10,355	10,733
たな卸資産	3,133	3,056
その他	385	224
固定資産	10,693	11,681
有形固定資産	5,376	5,783
無形固定資産	17	16
投資その他の資産	5,299	5,881
資産合計	30,008	31,353

科 目	前 期 末 平成27年3月31日現在	当第2四半期末 平成27年9月30日現在
負債の部		
流動負債	11,475	12,026
仕入債務	6,208	6,437
短期借入金	3,250	3,230
その他	2,017	2,358
固定負債	2,041	2,035
長期借入金	450	310
その他	1,591	1,725
負債合計	13,517	14,061
純資産の部		
株主資本	15,258	15,644
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	11,061	11,447
自己株式	△115	△115
その他	1,233	1,647
純資産合計	16,491	17,291
負債純資産合計	30,008	31,353

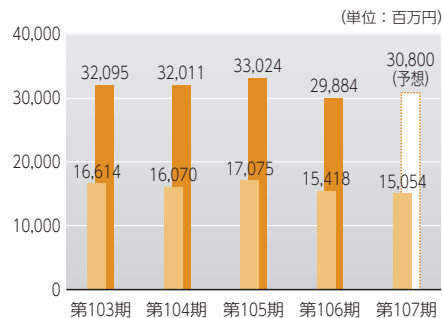
■ 総資産



■ 純資産 ● 自己資本比率



■ 売上高 ■ 第2四半期累計 ■ 通期



四半期連結損益計算書

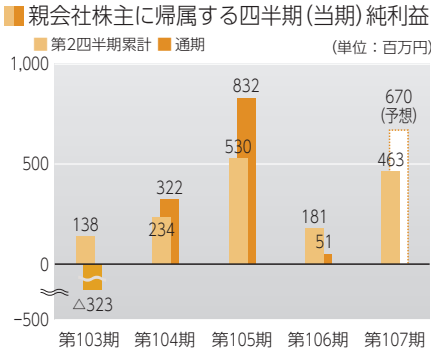
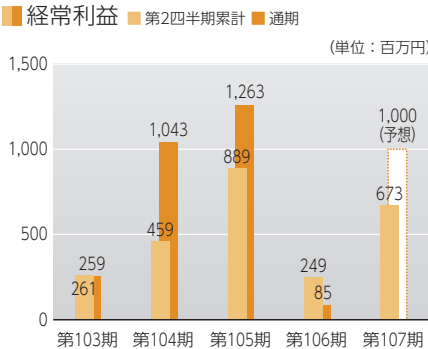
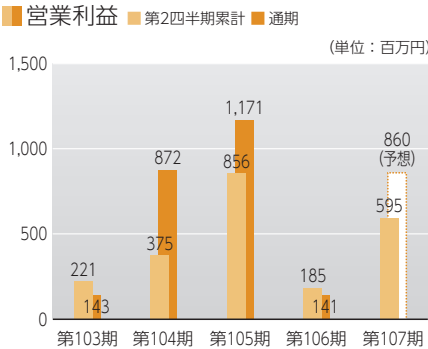
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで
売上高	15,418	15,054
売上原価	13,780	13,004
売上総利益	1,638	2,049
販売費及び一般管理費	1,453	1,454
営業利益	185	595
営業外収益	95	114
営業外費用	31	36
経常利益	249	673
税金等調整前四半期純利益	249	673
税金費用	67	208
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	181	463

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	261	729
投資活動によるキャッシュ・フロー	△788	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323	△325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△0
現金及び現金同等物の増減額	△855	252
現金及び現金同等物の期首残高	5,974	5,265
現金及び現金同等物の期末残高	5,118	5,518





Our Works

▶ 事業活動のご報告

全国に広がる当社のネットワークのなかから「掛川工場」をご案内するとともに、当期のトピックスをご紹介します。



最新鋭の設備と若い人材を有した
機能性材料の生産拠点。

「掛川工場」(静岡県掛川市)

掛川工場は、江戸時代に東海道の主要宿場町として、また掛川城を核とした城下町として発達した掛川市に、平成17年第一期工事、平成19年第二期工事によって建設された、当社のなかでは一番新しい工場です(隣の土地に平成28年完成予定の新工場、掛川工場 WESTを建設中)。

●若い力とチームワークが生産の源泉

掛川工場は、東海道新幹線の掛川駅から東に約5km、敷地面積約34.5千㎡の自然豊かな高台の工業団地にあります。工場から南に1.5km程の所には、野外コンサートを開催する「つま恋」があり、「ロック フェスティバルの街」といわれています。



Data

所在地：静岡県掛川市満水1000番5号
設 立：平成17年（2005年）



▲つま恋方面から見た掛川工場



▲掛川市のシンボル・掛川城

◀工場見学で近隣住民に災害時の給水方法を指導

従業員は80名弱と他工場に比べると少数ですが、平均年齢36歳の若い力にあふれ、少数であるがゆえのチームワークのよさで、日々の生産を行っています。

●日々製品の品質向上と新製品開発に取り組む

掛川工場では、最新鋭の設備を導入し、徹底したクリーン化を実現しております。主にタッチパネルや偏光板、スマートフォンなどの光学部材を、製造工程・運送・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護するSAT・サニテクトなどの機能性材料を生産しています。他工場と同様に、お客様の要求に応えるべく、従業員一丸となって製品の品質向上、新製品の開発、生産工程の改善に取り組んでいます。

また、近隣住民に対して工場見学を実施し、災害時には飲料水の提供を行う災害協定書を交わすなど、地域住民とのコミュニケーションを深めることにも力を入れています。これからも地域への社会貢献を継続し、愛される工場であるよう努めてまいります。



新工場「掛川工場 WEST」の 地鎮祭が執り行われました。

地鎮祭の様子 ▶



平成27年7月に「掛川工場 WEST」の工事の安全と事業の成功を祈願し、地鎮祭が執り行われました。

「掛川工場 WEST」は、主に産業資材製品の収益改善、既存設備の統廃合及び生産体制の再構築、高付加価値製品の生産・拡販による売上増を目的とし、産業資材事業の中核工場として来年5月の竣工を目指して工事が進められています。

工場の概要

名 称	掛川工場 WEST
所 在 地	静岡県掛川市満水1000番6号
敷地面積	約17千㎡
総投資額	約35億円 (用地は取得済につき土地代を含まず)
施工期間	平成27年7月～平成28年5月(予定)
導入設備	押出しラミネート機、 シリコン塗工機、仕上げ機、 樹脂サイロ、脱臭炉、各種付帯設備
生産品目	産業資材：ラミネート紙、 ラミネート布、剥離紙

▼「掛川工場 WEST」は、
掛川工場に隣接しています。



医薬・化粧品業界最大の専門技術展に出展。

「第28回 インターフェックスジャパン」

医薬・化粧品業界最大の展示会「第28回 インターフェックスジャパン」が7月1日～3日まで東京ビッグサイトで開催されました。双日プラネット株式会社様と共同で、防湿性・透明性に優れたフィルムを使用した医薬品包装材『テクニフィルム』を中心に出品し、大勢の業界関係者に高い関心を寄せていただきました。



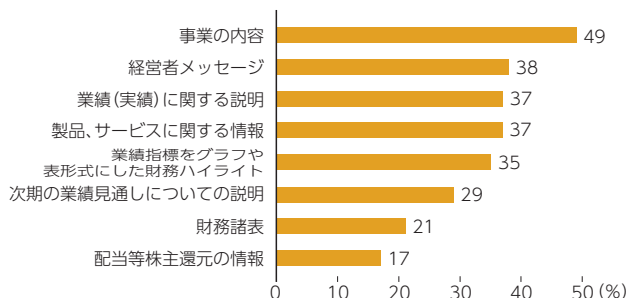
Questionnaire

▶ アンケート結果

「株主の皆様へ 第106期決算のご報告」において、アンケートを実施いたしました。
多くのご回答、ありがとうございました。ここにアンケート結果の一部のご報告とご質問にお答えします。



どの掲載内容を中心に
ご覧になりましたか（いくつでも）。



約半数の方に「事業の内容」とお答えいただきました。セグメント別に製造している製品の写真を掲載いたしましたところ「事業内容を写真で見ることができてわかりやすい」とのご感想を頂戴いたしました。今後も当社の事業内容や製品をわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

ご質問

配当政策について、考え方を教えてほしい。

配当政策についてのご質問ありがとうございます。

当社は、株主様に対する利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置づけており、株主様への安定した配当を維持しながら、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保していくことを基本とする配当政策をとらせていただいています。

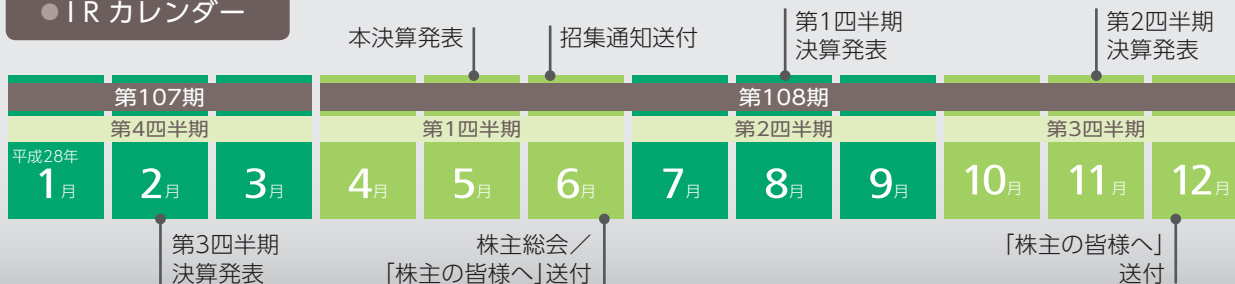
また、当社は剰余金の配当を中間配当と期末配当の年2回とすることを基本方針としています。

この方針に基づき、当期におきましても、下記のように配当を実施させていただく予定です。

1株当たり 配当金	中間配当(実績) 7円	+	期末配当(予定) 7円	=	通期配当(予定) 14円
--------------	----------------	---	----------------	---	-----------------

▶ **今回もアンケートを実施いたします。裏表紙にご案内を掲載しておりますので、ぜひご回答ください。**

● IR カレンダー





Stock Information & Corporate Data

▶ 株式の状況・会社概要（平成27年9月30日現在）

● 株式の状況

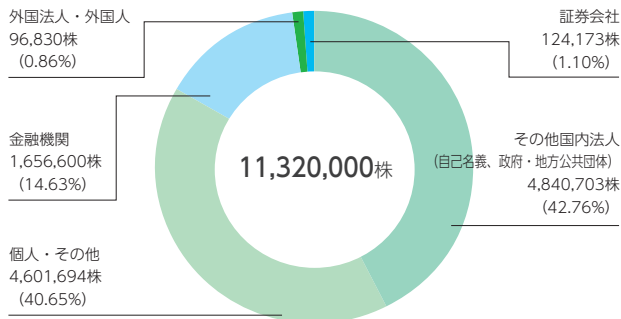
- 発行可能株式総数 45,000,000株
- 発行済株式の総数 11,320,000株
- 株主数 2,422名

● 大株主の状況

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	持株比率 (%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	357,900	3.26
株式会社三菱東京UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス(株)口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス(株)口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
山田次夫	136,500	1.24
鈴木靖子	117,000	1.06

1. 当社は自己株式を345,203株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式(345,203株)を控除しております。

● 所有者別株式分布状況



● 会社概要

商 号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事 業 所	関西支店、名古屋営業所、静岡営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、奈良工場 研究所 台北営業所
設 立	昭和17年9月
資 本 金	21億76百万円
従 業 員 数	538名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

● 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社
本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148

● 役 員

代表取締役社長	藤 岡 宣 隆	取 締 役	大 橋 宏 行
専務取締役	林 喜久雄	社 外 取 締 役	藤 澤 廣 一
常務取締役	藤 岡 貞 章	常 勤 監 査 役	鈴 木 直 樹
取 締 役	山 本 明 広	監 査 役	佐 藤 隆
取 締 役	櫻 田 武 志	監 査 役	宮 本 貞 彦

(注) 監査役 鈴木直樹、佐藤隆及び宮本貞彦の各氏は、社外監査役です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

[株式事務に関するお問い合わせ]

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、当社の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711(通話料無料)
- (2)払渡期間経過後のお取り扱い
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

当社の詳細なIR情報は、
ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、詳細なIR情報を掲載しております。
また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で謝辞(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトににてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

